

平成27年度勝田中学校「授業の工夫6箇条」実践項目

1 本時の目標（到達点）の明確な提示

- ・授業の見通しを持たせる
- ・授業の最後に「これができるばいい」を具体的につかませる
- ・行動目標で示す（～できる） … 生徒の到達した姿
- ・生徒の実態に応じて目標を練り上げる … 生徒にとって価値ある課題か？

2 本時の目標に即した評価（できた・達成感）

- ・授業の最後に本時の目標に照らした評価を設定する
- ・小テスト等の工夫と効果的な実施
- ・生徒自身の自己評価と振り返りを大切にする … 自分まとめ
- ・C評価の多い生徒への具体的な手立てを考える → 課題・家庭学習 他

3 授業の中で「教え合い・学び合い」の場を設定

- ・個の考え（答え）を持つ時間の設定 … 「わからないことが分かる」も可
- ・グループ・ペア活動 … 自分の考えを深める
- ・話し合いのまとめ→発表→全体に返す … 集団での深化
- ・個に返ってのまとめ … 個の考えの深化
- ・個と個、個と集団をつなぐ手立て

4 導入の工夫 ～興味・関心を高める学習課題の設定～

- ・本物を見せる … 実物・視覚的な教材の工夫
- ・生活に密着した課題の設定 … 体験的な学習
- ・ジャンプする問題 … 習得から活用へ

5 簡潔でわかりやすい指示・発問・説明

- ・何をどうすればよいのかの見通しを持って取り組める
- ・生徒の活動時間の確保 … 教師がしゃべりすぎない
- ・生徒にとってわかりやすい（答えやすい）発問の工夫
- ・主体的な学習を促す支援の工夫 … ワークシート・ヒントカード他

6 個人をしっかり見る

- ・聴くことを徹底（教師も生徒も）
- ・生徒の発言やことばを大切にする → 発言やつぶやきが生きる授業
- ・個の学びを見取る → 個に応じたプラスの評価（意欲・自信を引き出す）
→ わからない生徒への手立て

